

\*『ジャイモシ』ネパール語で「主(神)を讃美しよう」の意

## NHAのかわいい子供たち！

2014年1月20日～3月10日まで、NHAに日本語教師ボランティアとして行きました。当初は3カ月滞在する予定でしたが、3月から日本に留学することが決まっていたプラディプ君を日本に連れて帰る！という任務が与えられて、滞在期間が半分になりました。

日本語教師ボランティアの仕事は、月曜から金曜の午前10時半～午後5時までのスケジュールで、6つのクラスがありました。

- ① プラディプ君への個人レッスン (1) (漢字の読み書き、450字の漢字習得)、
- ② ジョサナさんへの個人レッスン (ひらがな・カタカナの読み書き、簡単な会話)
- ③ プラディプ君への個人レッスン (2) (会話の練習、本読み)
- ④ NHAの子供たちグループ1へのレッスン (5～7年生、18人)
- ⑤ NHAの子供たちグループ2へのレッスン (8～9年生、7人)
- ⑥ サンジェ先生への個人レッスン (会話練習やQ&A)

プラディプ君は、すでに会話はほぼ問題なくできていましたが、漢字の読み書きは一人で勉強するのは難しい…という状態でした。毎日一緒に20～30字の漢字を勉強し覚えました。また、本を読む練習もしました。ジョサナさんは日本語の勉強を始めたばかりで、全く分からないところからのスタート。ひらがなの書き方・読み方から始め、基本的な挨拶・自己紹介・簡単な会話の練習をしました。一度習ったことは、きちんと復習し覚えることができていました。

NHAの子供たちは、どちらのグループも明るく元気で日本語の勉強が大好き。ほぼ全員が、ひらがな・カタカナを全て書くことができていました。授業はその日その日によって違うことをしましたが、子供たちは教えたことをどんどん吸収していくので、教えるのがとても楽しかったです。宿題も一生懸命取り組む姿勢が見られました。またグループ2の子供たちは、漢字や日本文化(食べ物・着物・音楽など)にも興味があり、今後勉強してみたい！と言っていました。しかし、それらを教えるのは現地の先生には難しいので、引き続き日本語教師ボランティアが必要だと思いました。子供たちは本当に日本語の勉強が大好きで、授業中とても生き生きしていました。

NHAで日本語を教えているサンジェ先生とは、授業の後で会話の練習をしたり、質問に答えたりする時間を取りました。サンジェ先生の日本語のレベルも決して高くはなく、グループ2の子供たちと一緒に日本語を勉強することもありました。サンジェ先生と一緒に子供たちに日本語を教えるボランティアがいれば、もっと効率よくレッスンができるのではないかと感じました。

レッスンの準備に追われて疲れてしまうこともありますが、いろんなことを学びたいと待っている子供たちからたくさんパワーと元気をもらって、毎日本当に楽しく過ごすことができました。必ずまた行きたいと願い祈っています。

日本語教師ボランティア 藤原 愛



<b>目次:</b>	
NHAのかわいい子供たち!	1
小さな日本社会をつくりたい	2
日本語は決して難しくはない	2
NHA訪問記	3
幼児教育の向上を目指して	4
サリタ! 日本のテレビに出る	5
ネパールのカースト制度(5)	5
子供たちの日常生活(9)	6
質問箱	7
豆知識	7
新中期目標	7
2013年度決算報告	8
長期ビジョン積立金	8
新規に支援される子供たち	8
編集後記	8

ハイライト:

小さな日本社会をつくりたい (2ページ)
日本語は決して難しくない (2ページ)
NHA訪問記(3ページ)
幼児教育の向上を目指して (4ページ)
サリタ! 日本のテレビに出る (5ページ)

NPO法人 ブリッジズ・フォー・ネパール (BFN)

事務局: 〒569-0811 大阪府高槻市東五百住町3丁目1番4号(鬼頭宅)

Tel/Fax 072-695-0513

URL: <http://www.npo-bfn.org>

## 小さな日本社会をつくりたい

NHAで日本語クラスを開始して、7ヶ月になります。この間、日本語の基礎を教えました。日本語で流暢にコミュニケーションを図ることはできませんが、生徒たちは簡単な文章（自己紹介をする、日常生活について話をする、昨日したことについて話す、年月日を言う、丁寧に何かを頼む、謝る、あいさつをする等）を話すことができます。生徒たちは、ひらがな、カタカナ、漢字およそ30字の読み書きができます。

簡単な助詞（は、も、に、の、から、まで…）、動詞（起きます、食べます、飲みます、読みます、来ます、行きます、帰ります、寝ます…）、いくつかの単語や簡単な文型を学びました。

これまでの2回の学期テストでは、主に書く力を問いましたが、書く以外の言語能力の重要性に気付いたので、今回の3学期の試験では、口述筆記やスピーキングも加えました。2014年度の試験ではリスニングテストも含める計画をしています。

しかし、困難も抱えています。基本的なリスニング教材が不足しているのです。生徒たちは日本語を他の科目ほど大切な教科として履修することはできません。また、同じクラスで様々なレベルの生徒を教えることは非常に困難です。

これらの問題にも関わらず、日本語の授業をより良いものとするため、NHAにおいて「小さな日本社会」をつくるために1つずつ問題を解決したいと強く願っています。

NHA日本語クラス担当 **サンジェ マナンダー**



## 日本語は決して難しくはない

私はアスミタ・シュレスタです。私は幾人かの日本語のボランティアの先生によって7年生の時に日本語を教えてもらい勉強し始めましたが、その時は短期間であったため、あまり十分に学習することはできませんでした。今、日本語を継続的に学んでいます。日本語学習には2グループあります。私のグループには7名の生徒がいます。

最初にこのような素晴らしい機会と日本語を教えるために日本語の先生であるサンジェ・マナンダー先生を与えてくださった学校に感謝したいと思います。私だけでなく、私の友人たちも感謝しています。私たちはとても幸せです。日本語を学習することができて嬉しいです。ときどき私たちは授業で日本のゲームをすることを楽しんでいます。ゲームのおかげで日本語のボランティアの先生と日本語を話すことができます。すべての授業の中でもっとも興味深い授業です。日本語の歌も習いました。もっと日本語を勉強し、日本語を流暢に話し、書くことができるようになりたいです。私たちの先生はネパール人ですが、とても上手に日本語を教えてくださいます。

私たちは学校生活において日本語を学習する機会を得ることができ幸せです。

NHA9年生 **アスミタ・シュレスタ**



私はスウィクリティ・タパです。私はNHAの7年生で勉強しています。私は日本語の授業を受けることができとても嬉しいです。小さいときから日本語を勉強したいと思っていました。なぜなら日本と言う国が好きでいつか日本に行きたいからです。

2013年5月16日から日本語の勉強をしています。ひらがな、カタカナ、曜日、月、果物や野菜の名前、動詞、体のパーツ、いくつかの重要な挨拶、日付、動物、色などの日本語を勉強しました。また、漢字も学習しました。さらにもっと日本語を勉強しています。カラーバスケット、アニマルバスケット（フルーツバスケットのようなゲーム）などのゲームもたくさんしました。

日本語でもっともっとたくさんのことを学びたいです。手紙、日記、時間割などを日本語で書けるようになりたいです。また、日本の文化、挨拶、単語、文章なども学びたいです。日本の人々の習慣、生活様式、態度などについても知りたいです。日本の気候やまたそのほかのことについてももっと学びたいです。

日本語を勉強することができて本当にうれしいです。

最後に、私は言いたいことがあります。日本語が好きで日本人にとって日本語は難しいものでなく、日本語が好きでない人にとって日本語は難しいということです。つまり、日本語は簡単だと考えることです。そうすることで、私たちはもっと日本語を学ぶことができます。

ありがとうございます。

NHA7年生 **スウィクリティ・タパ**





## また行きたいなNHA

昨年11月のネパール訪問は、ちょうど選挙の時期と重なったためストライキがあり、外出禁止令が出されるという中でのもとなりました。そのため、滞在中はほとんどの時間を、クシクシホテルとその近辺、またNHAで、過ごすことになりましたが、忙しい日本を離れネパールの自然とゆっくり流れる時間の中でリラックスした幸いな時間を持つことができました。

一抹の不安をもって臨んだNHAでの日本語クラスも、子供たちの笑顔と明るさに助けられて、楽しい時間となりました。

道路が舗装されていないため、車やバイクが通るたびに土埃が舞い、そのため大人も子供も咳をしていたのが気になりました。また、道端に投げ捨てられたゴミの多さにはカルチャーショックを受けました。

ホテルから見たヒマラヤの山並みや青い空、そして子供たちの笑顔を思い出すたびに、再び機会が与えられて、子供たちに再会できることを願っています。



NHA訪問者 大坪 愛子

## こんな私でも

今回、シンガポールの訪問チームと一緒にネパールに訪問した。そこで、NHAを初め、いくつかの学校で「シンガポール・デイ」という、ブースに分かれてシンガポールを紹介する時間に参加した。学校の子供たちは、この時間をとても楽しんでいて。そして、私たちが紹介する一つ一つに関心を示し、積極的にこの企画に参加し、全力で楽しもうとしている姿を見ることができ、とても嬉しかった。

ネパールの子供たちはとても勉強熱心だと聞いていたが、それがなぜなのかが少し分かった気がする。彼らは色々なことに興味を持ち、興味を持ったことにとことん取り組むのだ。だから、勉強に対しても興味を持ち、自分から進んで積極的に取り組む。この姿勢はこれからのネパールが発展していくのに、大きな原動力になると思う。

今回、大きな不安があった。私が行ったとしても、邪魔になってしまうだけではないかと感じていた。しかし、私が日本人であると分かるとうちに、子供たちはさらに興味を持ち、質問攻めにあった。彼らにとっては私たちの全てが新鮮で、たくさんを知りたい意欲に満ちている。そんな中で私も役に立ったのだと思う。

このネパール訪問は、神様が導いてくださり、こんな私でも用いてくださるのだと教えられた幸いな訪問となった。



NHA訪問者 林 大輔

## 「当たり前」でなく「恵み」

今年の2月末から3月はじめにかけて、ネパールへ行ってきました。私にとって、初めての海外旅行です。行ってみると、全てのものが日本とは違い、新鮮でした。ネパールは、決して豊かな国ではありません。不便なことや大変なことがたくさんあります。しかし、せっかちな日本では味わうことのできない、とてもゆったりとした時間が流れていました。

私たちはたくさん場所を見て回りました。現在日本に留学生として来ているサリタさんやプラディプ君の母校であるNHAにも行き、それがとても印象に残っています。学校に着いた途端に、子どもたちはキラキラした目をこちらに向けてきます。彼らは勉強が大好きで、とても一生懸命にやっています。日本ではこんなに生き生きとして、学ぶ意欲を持った子が少ないように思いました。

ネパールに行って、私が日本人であるということはどういうことなのか、と考えさせられました。自分の受けている恵みに気づくことができなくなり、「当たり前」になったときに不満があふれます。今受けている恵みそのものに目を止め、それに感謝していかなければならないと思いました。私はネパールに行って、本当に良かったと思っています。



NHA訪問者 大崎 笙子

## 幼児教育の向上を目指して

美しい国ネパールのカトマンズの西にある有力な教育機関の1つであるNHAの教員を代表してお伝えできることは、非常にうれしいことです。

学校は、教員の能力向上を進めるために熱心に働いています。そのような努力の目的と目標は国際的な基準で学校のレベルを発展させることです。これはBFNからのご支援をなくして実現できません。

2013年はNHA、幼稚園の教員を含めた教員にとって画期的な節目となる年でした。私たち20人は2回にわたり、ネパールのキャリアトレーニング財団によって行われたモンテッソーリ教員研修に参加しました。その研修は2時間半の授業を36回受講するものでした。モンテッソーリは、実際の生活、実践、発見、教材、授業構造、学習環境、教員の役割などに焦点をあてた子供の教育制度です。

その研修はプロの教員になるためのガイダンスでした。教室での態度、知識や技術の関わり、応用、そして実施に焦点があてられました。学校文化についても学びました。子供たちは実際の生活での経験や発見を通して学びます。教員は生きたお手本なのです。

研修の目的は、教員に12の能力をたたき込むことでした。積極性、先見の目、尊敬と敬意、他者を助けるための機会、探求、共感、自信、継続維持、革新、意思疎通、思考の回転の速さ、気づき、リーダーシップ等の能力です。

私たちはまた、子供の心理学について学びました。子供たちは身体、興味関心、態度のすべての部分で異なります。もし私たちが子供たちの興味関心を理解することができないならば、何も教えることができないのです。子供たちはいつも楽しみたいと願い、想像性と幻想を求めています。私たちは彼らを尊敬し、気持ちを理解するべきです。

私たちはもう一つの訓練も受けました。シンガポールのベテスタ幼稚園から3人の先生方が来られました。9人の教員が参加しました。先生方は、子供たちの鏡として教室運営をどのように行うか、小さな子供たちをどのように扱うかについて教えてくださいました。

子供たちを教える際、最初に子供たちの感情や心理について知る必要があります。それから、教室をコントロールして、子供たちを教えることができます。子供たちは遊ぶことが大好きです。ですから、息抜きのために少なくとも1日15分程度の時間は確保すべきです。この研修において、音楽に合わせた動き、タンバリンのダンス、乗馬遊び、三目並べなどを学びました。

屋外のゲームについても学びました。生徒たちが退屈になり、疲れたと教室で感じるとき、息抜きのために屋外で遊ばせるべきです。キャッチボール、尻尾取りゲーム、玉入れ、ボール拾い、スカーフ取りのようなゲームを教えてくださいました。

同様に、物語の話し方について教えてくださいました。ジェスチャーを使って、恐れ、喜び、悲しみ、楽しみなどのような感情の要素を加え、物語をより生き生きとさせる方法を教えてくださいました。まず私たち自身が物語をよく学び、それから子供たちの前で発表することの必要性を強調しました。

両方の研修によって教えられ、私たちは、実践において研修で学んだことを具体化していくことを決意しました。アクティビティや感覚学習、主題アプローチ等をまず授業に導入しました。教員は2週間に1度火曜日と金曜日に論議するために集まって、スキルの共有をしています。親しみやすい学習環境を作り出すことによって、子供たちに学校に対して前向きな姿勢を植えつけること、またカトマンズの西部地域において、NHAを初等教育に関してトップレベルの学校に導くことを約束します。





## サリタ！日本のテレビに出る！！

2月9日、近畿大学附属高等学校に留学しているサリタがMBSのテレビ番組「ホームカミ」に出演しました。「ホームカミ」は毎週日曜夜10時から全国ネットで放送されている人気番組で、タレントのさまぁ〜ずさん、SHELLYさんが司会を担当しています。



学校で撮影されたのは、日本語の個人レッスン、化学の授業、教室での昼食の様子、創作ダンスを踊る場面など。そして、レポーターとして来校されたのが、タレントのU字工事のお二人でした。二人に気付いた生徒たちは廊下に溢れてサリタがインタビューを受ける姿を見ていました。

しかし、実際の放送ではホストファミリーでのサリタの様子がメインです。

「日本食が口に合わなくても弱音をはかないサリタのために、ネパールの料理を食べさせたい。」その

ホストファミリーの願いを受けて、サリタには内緒で番組スタッフがネパールに赴くという構成です。



そして、サプライズでサリタにビデオレターを見てもらうシーン。突然見慣れた

ネパールの風景が映ります。続いてNHAの校舎とピーター校長からのメッセージ。そして、サリタが育った自宅。懐かしい両親の姿と優しい呼びかけに、思わず涙が溢れるサリタ。そしてスタッフが持ち帰ったお母さんの料理を、嬉しそうに食べました。

テレビの画面からも彼女が遠く故郷を離れて頑張っていること、そのサリタを多くの人たちが応援していること、そして日本の家族の皆さんの温かさが十分伝わってきました。



日本全国でこの番組を見た多くの人たちが感動しました。そして近畿大学でも、附属高校の教職員だけでなく、多くの関係者がこの番組を見ていました。大学のある学部の事務長は感動して目頭が熱くなったと、その所感を学部長や附属高校の事務長にメールで伝え、またインターネットを検索してこの「ジャイモシ」も読んでくださいました。



今回のテレビ出演は、サリタ本人やホストファミリー、またネパールで彼女を応援する人々の大きな励ましになったと感謝しています。そして、いよいよ大学への進学が近づくサリタに、最善の道が開かれるようにと願わずにはいられません。

近畿大学付属高校 教頭 森田 哲

## ネパールのカースト制度(5)

### 法律から見たカースト制度

ネパールにおけるカースト制度は、公式に1963年に廃止されました。法律上ではカースト制度を施行することはできません。更に2011年5月24日にカースト差別に関する法案2066を通しました。新しい法律では、カースト差別は公的な場面だけでなく、私的な場面においても禁止されるというものです。新しい法律は、差別の責任があるとみなされる役人たちに対して更なる処罰を加えました。被害者は加害者に補償を要求できます。またカースト差別を誘導した場合も犯罪と規定しています。しかし、これらの法律があってもカースト制度は存在し、人々の日常、非日常に問わず差別が続いているのです。

どうしてカースト制度がなくならないのでしょうか。カースト差別はヒンドゥー教の教えが深くかかわっているからです。カースト制度の差別的規定は「パルスカーグリヤストラ」、「ガウタムストラ」、「マヌススムルティ」、「シュクラニティ」などのヒンドゥーの經典に基づいているからです。そして、国民の90%以上がヒンドゥー教徒です。

現代、カースト制度は階級という別の形に変わりました。昔から貧しく、虐げられ、奴隷とされた人々は、今でも高い地位に上がることはできません。社会、経済、政治、法律の分野において平等であることを否定されたりします。富と権力は、不均衡に分布し、高カーストの人々に有利に働くシステムになっています。政府による発展プログラムにおいてさえ、低カーストの人々の利益に反する多くのプロジェクトがあります。

法律だけでは、カースト制度はなくならないのです。



元NHA教頭 コモル・プラサド・ポカレル

## 子供たちの日常生活(9)

子供の名前: プロジュウル・タパ  
 お父さんの名前: シャンカー・タパ  
 お母さんの名前: ポルボティ・タパ

学年: 2年生  
 お父さんの仕事: 無職  
 お母さんの仕事: 主婦



プロジュウル・タパはNHAの2年生です。一人息子で、マチェガウンで両親と暮らしています。彼は幼稚園からNHAに通っており、2012年にBFNの奨学生に選ばれました。

彼は午前6時起床し、夜7時に就寝します。学校を休まず、いつもちゃんと宿題をします。学校へは徒歩10分です。学校から帰るとまず宿題をします。彼はサッカーが大好きなので、宿題の後、外でサッカーをします。

冴えた頭と熱心な学習により、しばしばクラスで1番をとります。母親の世話が十分でないために、彼は学校に制服をきっちりと着てきません。しかし、彼は学校で先生の話をよく聞き、質問に答えます。

彼は教会の日曜学校にも定期的に参加しています。歌を歌ったり、踊ったりすることで積極的に

に主を賛美しています。彼はBFNの奨学生になることができ、非常に喜んでいいます。里親から手紙と贈り物を受け取ると、とても喜びます。彼はBFNと勉強を助けてくださっている里親の方に感謝しています。

母親はこう言っています。

「私の息子に奨学金を与えてくださり、BFNの皆さま、また里親の方に、心から感謝します。ご支援

により、息子はこのような素晴らしい学校で学ぶ機会を得ることができました。私の人生において、あなた方のご支援を決して忘れることはありません。ありがとうございます。

息子は小さい時からとても賢いです。家で私たちによく従い、行儀も良いです。周りの人にも思いやりをもって接します。私が十分に彼にしてやれなかったとしても、文句を言いません。彼は我が家の状況をよく理解しています。父親は大酒飲みで、家族に対して責任を果たしていません。それゆえ、家に関わるすべてのことを、私は1人でしなければなりません。

息子はサッカーが大好きで、絵を描くことにも興味があります。彼はジャガイモ、ギー(無塩バターを沸騰させて水分を取り除いた澄ましバター)、カード(凝乳)が好きです。家事をすることは嫌いで、私を手伝いません。暇な時には漫画を読みます。時々彼の態度は良いものではありませんが、彼がいて幸せですし、彼の成績についても満足しています。」

担任の先生は次のように言っています。

「プロジュウルは才能のある、活発な生徒です。彼は宿題や課題をしっかりとします。時々教室で騒がしくし、おしゃべりをするもありますが、とても親しみやすく、クラスの生徒たちにも誠実です。彼は勉強がとてもよくできます。熱心に勉強して、2学期の試験で2番をとりました。」





## 質問箱

**質問:**「支援と直接関係ないのですが、NHAの先生の給与は、他の学校と比べて高いですか、それとも低いですか。少し関心があります」

**回答:** 回答:ネパールで私立学校を運営するのは決して容易ではありません。日本と違い、国からの助成が全くないので、運営費のすべてを学校独自で負担しなければならないのです。それゆえ多くの私立学校が海外からの支援に頼らざるを得ないのが現状です。下記は、NHA訪問時の聞き取り調査です。

表 私立学校と政府学校(政府)学校の給与(基本給)比較 2013/11/29

教える生徒の学年	一般の私立学校の月給	政府学校の月給
1年生～5年生担当	6,000～7,000ルピー	12,000ルピー
6年生～8年生担当	9,000ルピー	15,500ルピー
9年生～10年生担当	14,000ルピー	20,000ルピー

※1ルピーは、日本の1円相当である。

政府学校と私立学校ではほとんど1.5倍以上の開きがあります。政府学校の先生は、ほとんど縁故採用です。一旦採用されたならば、その身分は一生保証されるため、労働意欲に乏しく怠業するものが多いです。これはネパールの公務員全体に言えます。逆に私立学校は、いつでも首をカットされる恐れがあるので、熱心な先生が多いです。私立学校に人気があるのもその要因です。NHAは一般の私立学校と同じです。日本と比較になりません。

ネパールでは、良い仕事がないので、先生はとても人気のある職業です。

## ネパール豆知識(これって知ってた?)

### ネパールではお土産に本物の刀が売られている?



外国に行く楽しみの一つにショッピングがあります。市場を巡ると気持ちがあきあきします。

しかし、ネパールに行くとお菓子やチョコレートといった定番がありません。また帰りの空港内ではお店がありません。しっかり市内で買い物をしましょう。お土産の一番は、紅茶がおすすめです。ダーズリンに近い、東ネパールのイラム産が有名です。

ちょっと変わったものを紹介しましょう。ネパール刀です。「ククリ」と言います。ネパールの山岳民族が身につけている刀です。サイズは15cmの小さいものから大きいものは1mもあります。刀身は、バネ鋼で文様が彫られ、柄の部分は象嵌が施されているものもあります。持てばずっしり重量感があります。ネパールの警察官や軍人はいつも携帯しています。大きさによっては、日本に持って帰ることはできません。気をつけてお買いください。

## 新中期目標 (5ヶ年計画)

2014年3月31日現在

(単位)

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	備考
子供支援目標数	80名	85名	90名	105名	110名	
(現被支援者数)	81名	85名	100名	103名		
スポット支援目標額	500,000	500,000	500,000	900,000	900,000	単年度
(現支援収入額)	941,977	764,000	1,262,800	936,500		
(現年度支援額)	335,834	411,148	561,700	749,782	300,000	
(支援繰越額)	606,143	958,995	1,360,095	1,546,813		
留学生支援金			300,000	594,800		

2013年度 決算報告 収支決算書 2013年4月1日～2014年3月31日 (単位 円)

収入の部)			(支出の部)			
科目	収入額		科目	支出額		
入会金・会費	正会員入会金	10,000	事業費	未就学児童への支援事業	2,398,010	
	正会員会費	792,000		教育機関への支援事業	749,782	
	賛助会員会費	3,035,000		(内ソーラー事業・再掲)	(562,872)	
寄付金	スポット支援金	936,500		留学生への支援事業	594,800	
雑収入	雑収入	245		日本における啓蒙活動事業	133,902	
<b>当期収入合計(A)</b>		<b>4,773,745</b>		会費収納管理費(会費引落手数料)	262,445	
前期繰越金	賛助会員会費繰越金	600,164	事務費	郵送料・通信費	12,320	
	スポット支援金繰越金	1,360,095		消耗品費	15,654	
	留学生支援繰越金	449,000		その他	48,034	
	事務費繰越金	218,748		<b>支出合計(C)</b>		<b>4,214,947</b>
	長期ビジョン積立金	1,528,000		<b>当期収支差額(A) - (C)</b>		<b>558,798</b>
<b>収入合計(B)</b>		<b>8,929,752</b>	<b>次期繰越収支差額(B) - (C)</b>		<b>4,714,805</b>	

貸借対照表 2014年3月31日 (単位 円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	0
現金	6,474	<b>【固定負債】</b>	0
預貯金		<b>負債の部合計</b>	0
三井住友銀行	985,281	<b>純資産の部</b>	
ゆうちょ銀行(振替)	1,347,510	賛助会費繰越金	407,522
ゆうちょ銀行	240,322	スポット支援繰越金	1,546,813
ゆうちょ銀行(定額)	2,135,000	留学生支援繰越金	240,322
楽天銀行	218	事務費繰越金	384,648
<b>【固定資産】</b>	0	長期ビジョン積立金	2,135,500
		<b>純資産の部合計</b>	<b>4,714,805</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>4,714,805</b>	<b>負債・純資産の部合計</b>	<b>4,714,805</b>

長期ビジョン積立金 2014年3月31日現在 (単位 円)

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	合計
長期ビジョン積立金	454,500	503,500	570,000	607,500		2,135,500

新規に支援される子供たち 2013年度 (2013年10月～2014年3月) 2014年3月31日現在

氏名	性別・学年	氏名	性別・学年	氏名	性別・学年
プラチク・ギミレ	男 2年生	プレナラ・マハリヤン	女 9年生	ディペン・マハリヤン	男 2年生

**編集後記** 6月に「ビヨンド・ザ・エッジ」が公開されます。この映画は1953年5月29日、人類未踏の8848m世界最高峰エベレストに初登頂を果たしたニュージーランド人エドモンド・ヒラリーとネパール人シェルパのテンジン・ノルゲイの物語です。人はなぜ山に登るのでしょうか。未知なるものにあこがれ、それを自ら極めたいと願うものかもしれません。二人は国籍を超えて互いを理解し、信じ、挑戦しました。苦難の末、二つの国旗が頂点に立ったのです。

エベレストの山麓にネパールがあります。目的は異なりますが、ヒラリーやテンジンと同じく志を高く持ちたいと思います。BFNは、子供たちが学校で学べるように、笑顔で勉強できるように、日本の里親とネパールの子供たちが互いに喜びを分かち合えるように、活動を続けて行きます。これからも御支援をよろしくお願い致します。